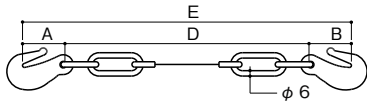
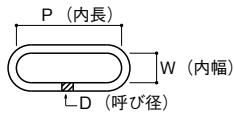


セフティチェーン



●リンク



D (呼び径)	P (内長)	W (内幅)
6mm (±0.15mm)	37mm (±0.30mm)	10mm (±0.30mm)

強度-1

破壊試験荷重	2,200kgf(21.5kN)
耐力試験荷重	1,000kgf(9.8kN)
許容荷重 (仮設工業会使用規準による)	(一本吊)240kgf(2.35kN) (ループ吊)430kgf(4.21kN)

⚠ 注意

セフティチェーンの不良品について

- ① チェーンの伸びが、当該つり鎖の製造されたときの長さの5%を越えるもの。
・セフティチェーンの1リンクの内長が38.85mm以上に伸びたものは使用してはいけません。
- ② リンクの断面の直径の減少が、当該つり鎖が製造されたときの当該リンクの直径の10%をこえるもの。
・セフティチェーンの線径は6mmですから、5.4mm以下に細くなったものは使用してはいけません。
- ③ 亀裂があるもの。(入念の肉眼検査で発見することができる以上に亀裂が進行しているもの。)

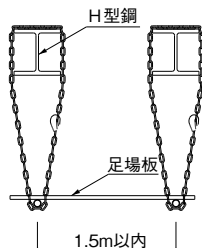
DATA 品名・規格・寸法

呼称	フック			チェーン			有効長さ (テンション 20kg) E	精度±P 個	質量	1袋入数 本	色別	
	内長 A、B	個数	全長 A+B	内長 P	個数	全長 D						
セフティチェーン 2.0	45mm	2	90mm	37mm	51	1,880mm	1,997mm	1P	1.32kg	20本	黄	
〃	3.0	45mm	2	90mm	37mm	79	2,920mm	3,013mm	1P	1.93kg	16本	緑
〃	4.0	45mm	2	90mm	37mm	105	3,880mm	9,975mm	1P	2.54kg	12本	水色

説明

- ① 足場吊チェーンは図1のように輪形に使用するのが最も安全です。
そのためには、なるべく余裕のある長いチェーン(4m以上)をご使用ください。

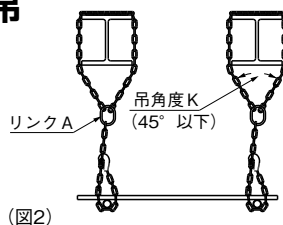
ループ吊



(図1)

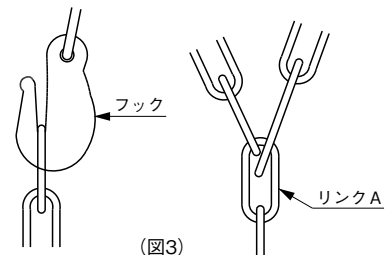
- ② チェーンが短く、やむを得ず図2のように使用される場合は、リンクAに横引きの荷重が働きますので安全率が低下します。この場合は吊角度Kが小さい程安全です。この方法でご使用の場合は必ず最大角度を45°以下でご使用ください。

一本吊



(図2)

- ③ フックのかけ方
チェーン(リンク)にフックをかける場合、かけ方が悪いと(フックのはまり方が不十分)フック及びチェーンの安全率が低下しますので図3のようにフックの先が充分廻り込むようにかけてください。



(図3)

ボルトバッグ



特長

- ボルト・ナットを水濡れ・衝撃から保護
- 高所運搬移動の安全性を向上
- ボルト・ナット、チップ、段ボールケースの飛散防止

- サイズ/幅270mm×奥行き270mm×高さ300mm
- 最大容量/50kg
- 色/グリーン

■ボルトバッグのメリット

▶省力化

必要な数量のボルト・ナットだけを、立ち上げる鉄骨に取り付けて運搬するため、作業場所までの運搬、および残ったボルト・ナットの回収が不要になります。

▶安全性の向上

危険な梁上でのボルト・ナット運搬作業が不要になります。切り取ったチップの回収に利用でき、周辺の作業環境を良好にします。ダンボールケースを使用しないことで、ケース内に残った少量のボルト・ナットやダンボールの飛散もなくなり、作業者の危険や近隣とのトラブルといった問題も減少します。

▶品質維持

水濡れ厳禁のボルト・ナットのために、本体・ふたとも防水キャンパス（ポリエステル製）を使用、首金具とファスナーの位置を工夫し、水滴が入りにくくするなど防水対策は万全です。ダンボールケース入りの場合に“持ちにくい”“重い”などの理由で起きていた、投げ置きによる品質劣化もなくなります。

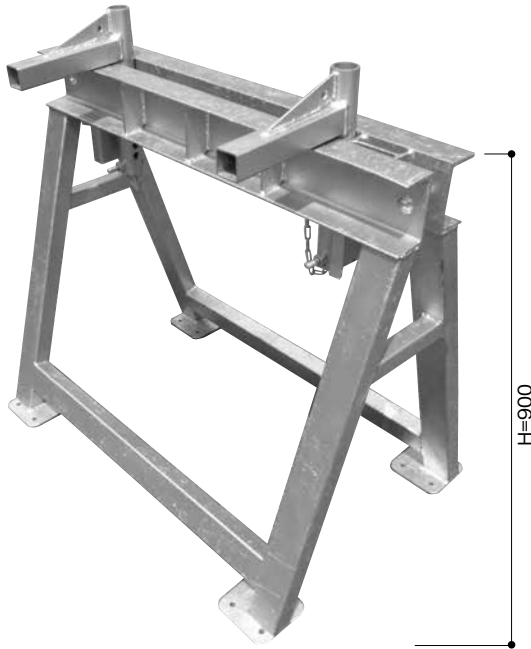
▶経費節減

必要数量のみを運搬・配布するため、紛失などのロスコストが少なくなります。また防水加工が施されているため、突然の雨などによる水濡れ交換といったロスコストも少なくなります。

▶優れた作業性

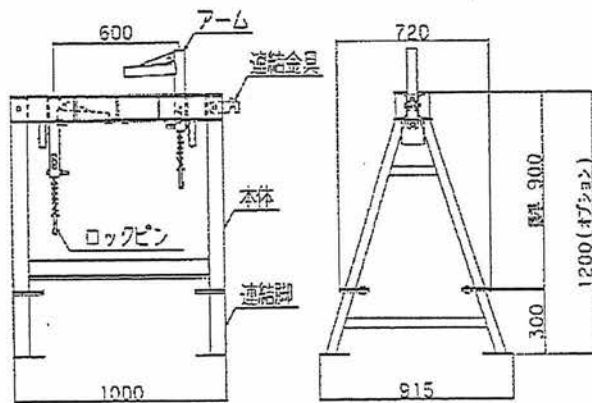
自立プレートを利用すれば、バッグ内が空でもバッグが自立するため、ボルト・ナットの出し入れがスムーズになります。カラビナを装備しており、作業がしやすいように吊りロープの長さを簡単に調節できます。また大口径フックを利用すれば、柱、梁などの必要な場所に簡単に固定できます。

鉄骨架台 (転倒防止アーム付)



特徴

- 従来品より安定性が増加
- 工具（ラチェット等）を使わず、梁と架台の固定が可能
- 許容荷重 49kN (5t)
- 対応可能梁：フランジ幅150mm～550mm、厚み80mm以下
- 連結脚（オプション）を使用する事により、H=1200が可能



⚠ 注意

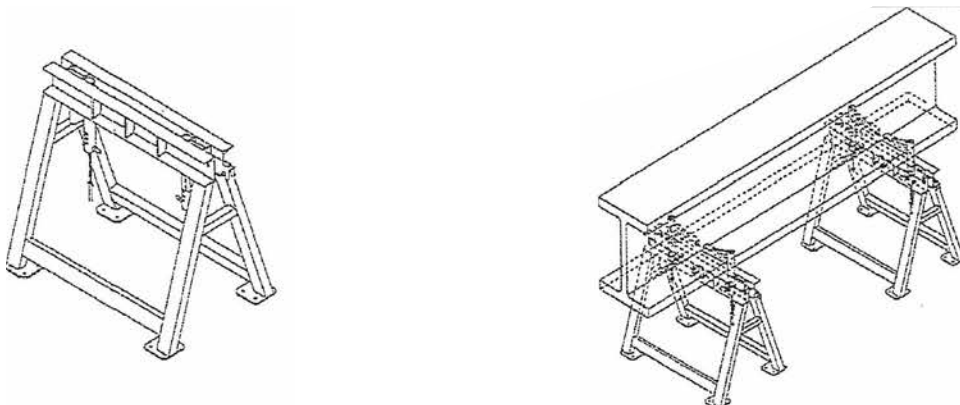
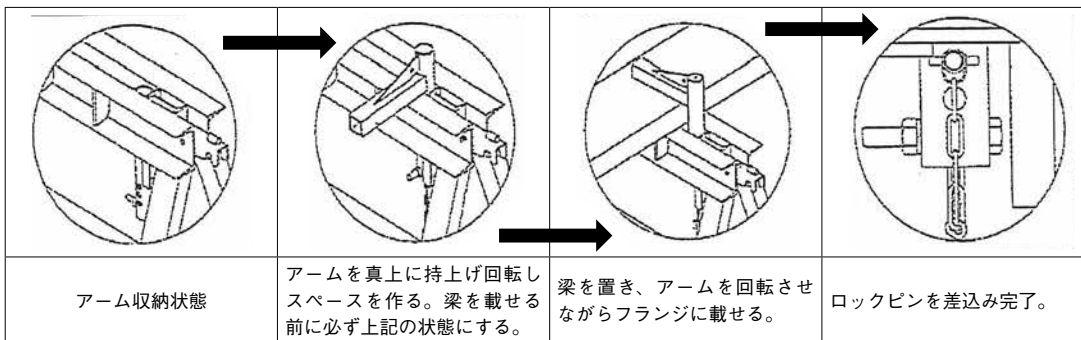
連結使用の場合（オプション）

プレートの結合はM10高力ボルト、ナット（3本×4脚）で行うこと。

連結する場合

連結金具を用いて架台同士相互に連結する場合は、ステージでの使用のみとする。

《アーム使用手順》



クロスハンガー

●適合フランジと作業床高さ 300型

フランジ厚さ	4~32					
フランジ幅 (許容差±5mm以内)	125	150	175	200	250	300
作業床高さ (A寸法)	646	642	636	631	617	604

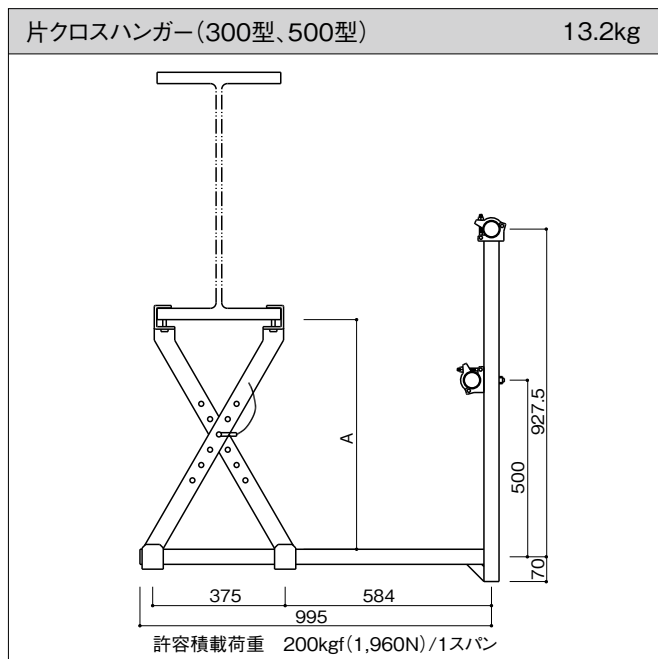
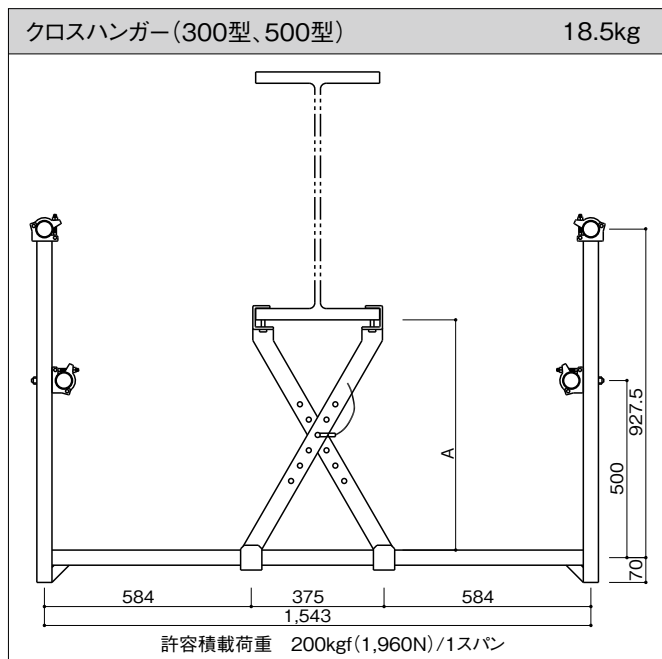
500型

フランジ厚さ	10~42				
フランジ幅 (許容差±5mm以内)	300	350	400	450	500
作業床高さ (A寸法)	695	680	670	655	630

⚠ 注意

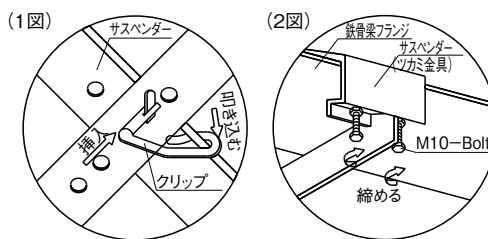
- ① クロスハンガーの取付には専用架台を使用し、出来る限り地上で作業してください。
- ② 台風時は作業を中止して天候の回復後、ボルト、クリップの緩み等安全点検を行なってください。
- ③ 手摺柱部分に水平養生ネット、垂直養生ネットの取付をしないでください。
- ④ 鋼製及び合板足場板をご使用の場合は、ゴムバンド等でしっかり固定させてください。
- ⑤ クロスハンガーの解体を容易にするため主筋とフランジ端部との間隔は36mm以上必要です。

クロスハンガー



📝 説明

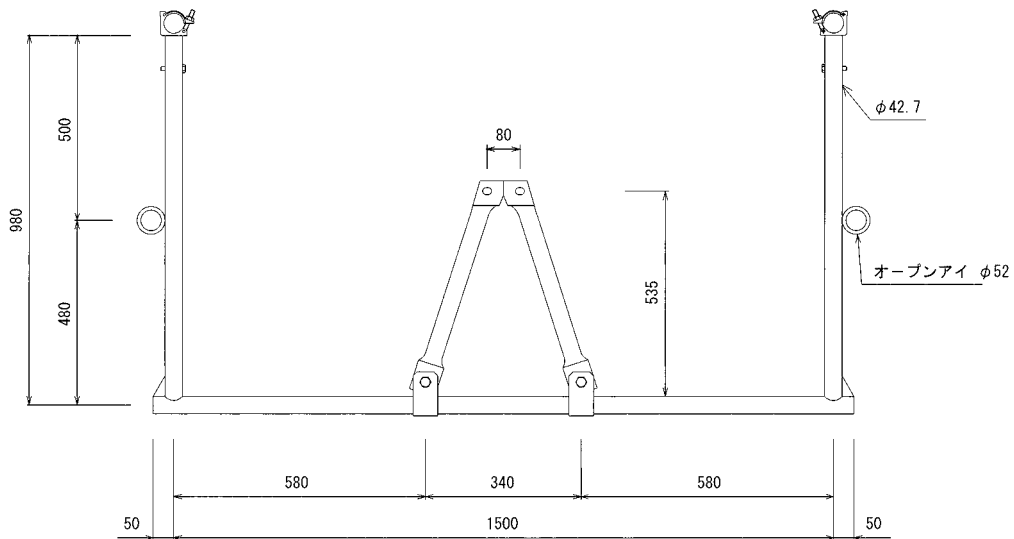
- ① サスペンダーを交差させ、鉄骨梁のフランジにつかみ金具をかける。(2図参照)
- ② フランジ幅にあったサスペンダーの穴にクリップを差込みロックする。(1図参照)
- ③ 割付した位置で、つかみ金具のボルトを締める。(2図参照)
- ④ 足場板、手摺パイプ等を取り付け、鉄骨梁を吊込む。
- ⑤ スパン長1,800mm以下でご使用ください。



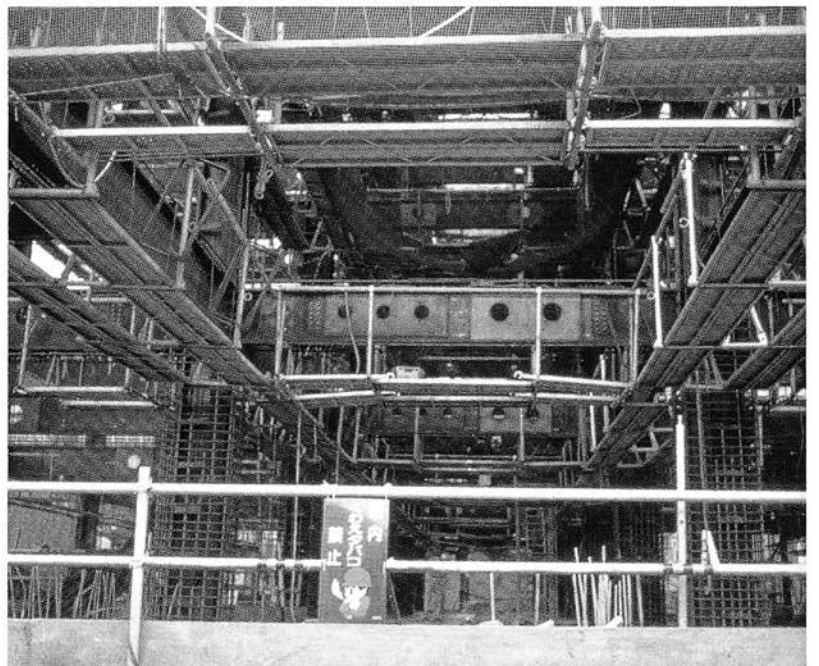
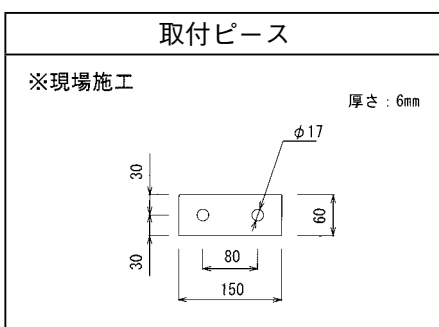
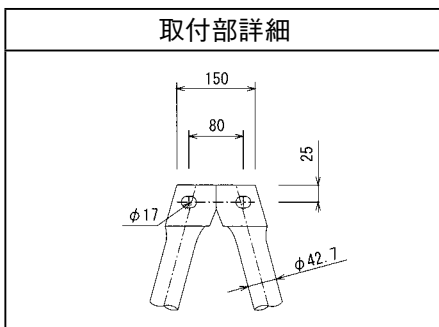
パイハンガー

品名	品番	製品重量	許容荷重	梱包数(枠)
パイハンガー	H1015	11.0kg	片側:1.96kN(0.2t) 両側:3.92kN(0.4t)	25
片パイハンガー	H1015S	8.0kg	3.92kN(0.4t)	50

※取付の際には必ず鉄骨架台をご使用下さい。



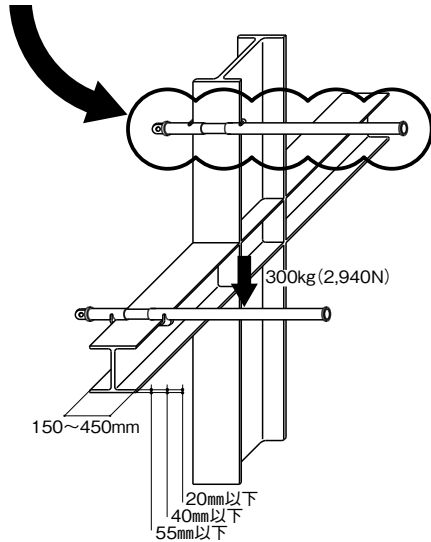
- あらかじめ計画した鉄骨のハンガー取り付け位置に取り付けピースを取り付けておきます。
- 鉄骨に取り付けられた取付ピースに締付ボルト、ナットを用いてハンガーを取り付けます。
- ハンガーに鋼製布板（又は鋼製足場板）と手摺りを外れることのないように完全に固定して下さい。
- パイハンガーが完全にセットされていることを確認してから鉄骨の組込みを行って下さい。鉄骨の建方完了と同時にパイハンガーを利用できます。
- 取付ボルトは、M16×40 普通ボルトをご使用下さい。



キャッチベース

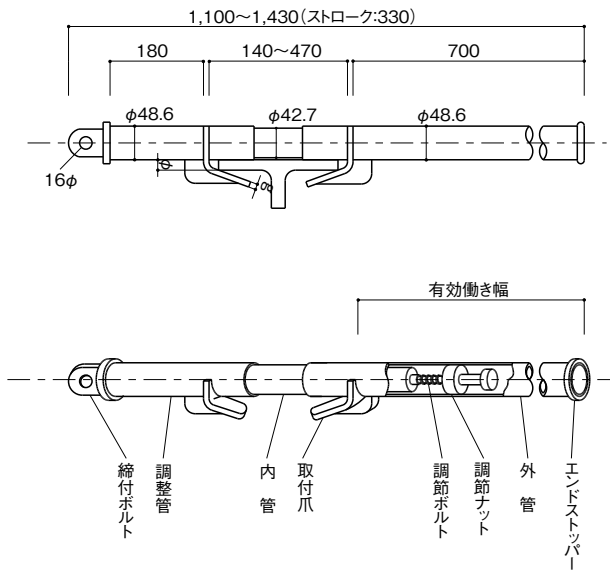
⚠ 注意

① 垂直面への取付けは行わないで下さい。



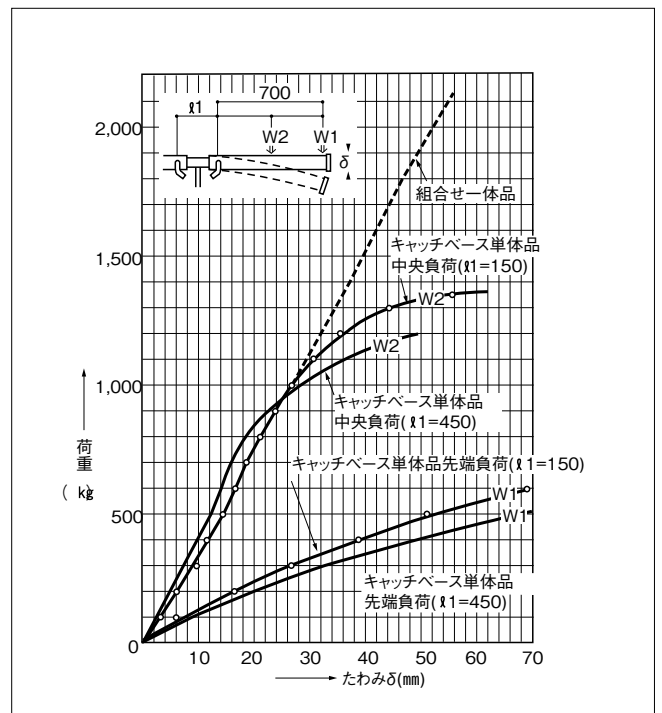
✎ 説明

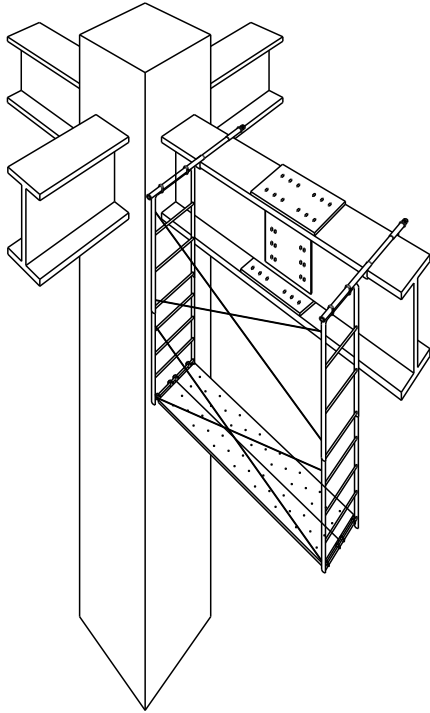
- ① ビルダーステージと組み合わせてご使用ください。
- ② 架設通路としても足場板を使用してください。
- ③ 荷重条件は中央集中で300kgf (2,940N)です。



型 式	フランジ幅	フランジ厚	許容荷重 (中央集中)	質 量
CB I 型	150~450mm	20mm以下	300kgf(2940N)	8.5kg
CB II 型		20~40mm	300kgf(2940N)	9.0kg
CB III 型		40~55mm	300kgf(2940N)	9.5kg

強度 たわみ強度





説明

- ① 寸法が5段階に伸縮します。
(最短で、1,500mm、最長で2,800mm)
- ② 各部材の取り外し、取り付けが容易にできます。
- ③ 荷重条件は、200kgf/枠 (1,960N/枠) です。

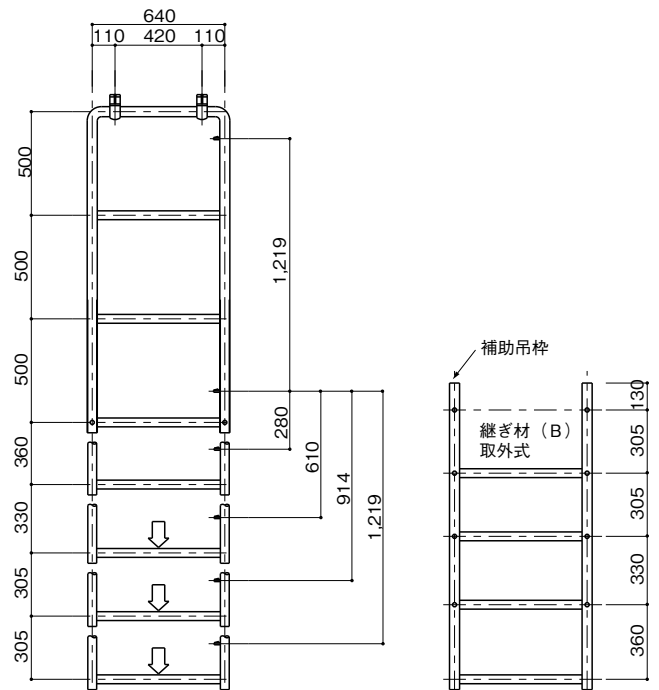
用途

- 1) キャッチベース等、との組合せにより吊り足場として、梁の本締め用足場、及び作業通路に。

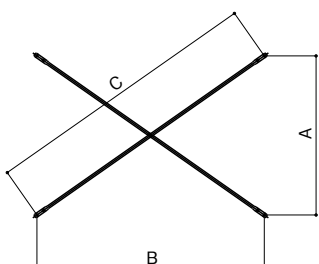
●吊下げピッチ 1,829mm時使用筋違リスト

H mm	交叉筋違	
	主吊枠	補助吊枠
1,500	A-14	
1,860	〃	A-16S
2,190	〃	A-08
2,495	〃	A-19
2,800	〃	A-14

型式	A寸法	B寸法	C寸法
A-14	1,219mm	1,829mm	2,198mm
A-16S	280mm	〃	1,850mm
A-08	610mm	〃	1,928mm
A-19	914mm	〃	2,045mm



品名	寸法	質量
伸縮型	640×1,500~2,800	17.0kg



トビック用昇降タラップ

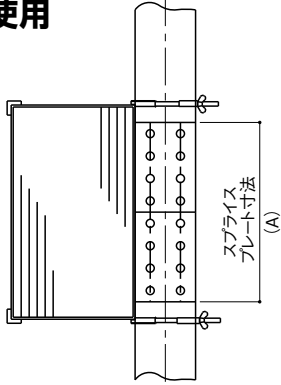
オプションパーツ

<p>TVT12</p>	<p>TVT345</p>	<p>TVT5U345</p>
<p>トビック1・2型用</p>	<p>トビック3・4・5型用</p>	<p>延長TV(500UP)3・4・5型用</p>

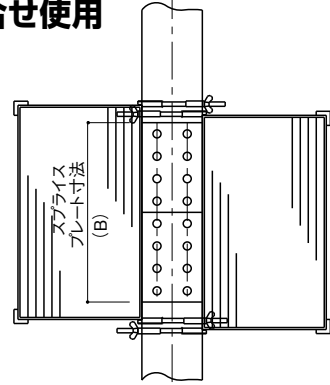
<p>昇降時（正面設置）</p> <p>梁上600以上 (乗込用手摺)</p> <p>※このままの状態ですとトビック開閉（折畳み）OK！</p>	<p>作業時（サイドに回転）</p> <p>※作業面を塞ぎません！</p>
--	---------------------------------------

参考

●1台のみ使用



●2台向い合せ使用



●取付金具仕様寸法

形式	C寸法	(標準)
A ₂ 型	125~490mm	
B ₁ 型	0~40mm	
B ₂ 型	0~150mm	
B ₃ 型	80~250mm	
B ₄ 型	115~300mm	

腰壁などにご使用いただく場合には、幅に合わせた各種B型金具が用意しております。

●フック

形式	フランジ厚適用寸法	
	梁幅	フランジ厚さ
40型 (標準)	200未満	30以下
	200以上	35以下
60型	200未満	50以下
	200以上	55以下
100型	200未満	90以下
	200以上	95以下

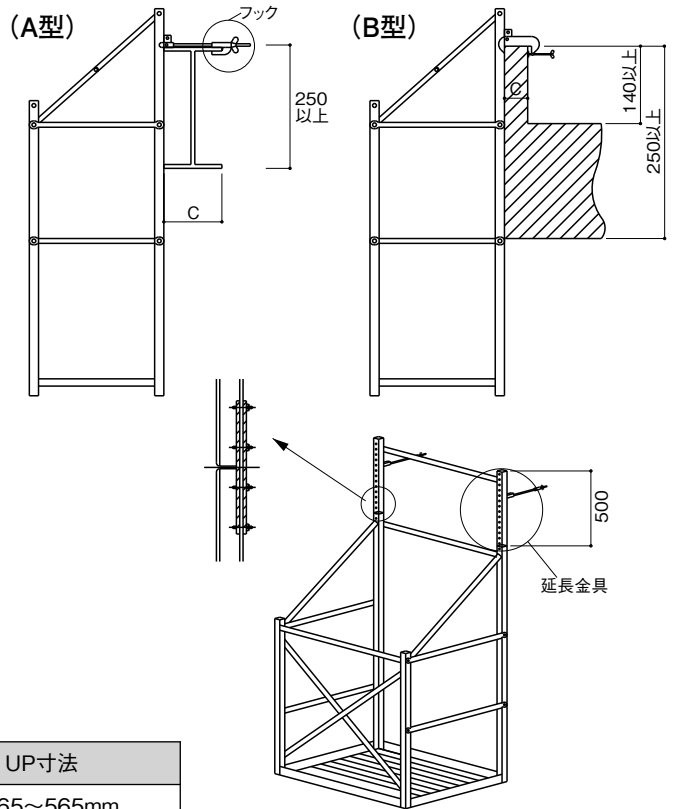
※使用の際に御相談下さい。

●延長金具

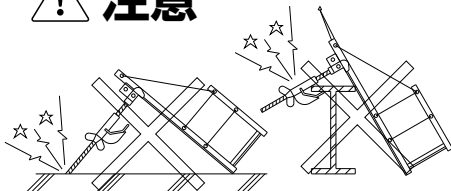
形式	品名コード	UP寸法
500UP	274003650	+365~565mm

※調節ピッチは50mm間隔です。

●使用例

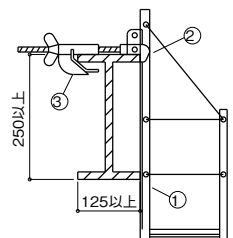


注意

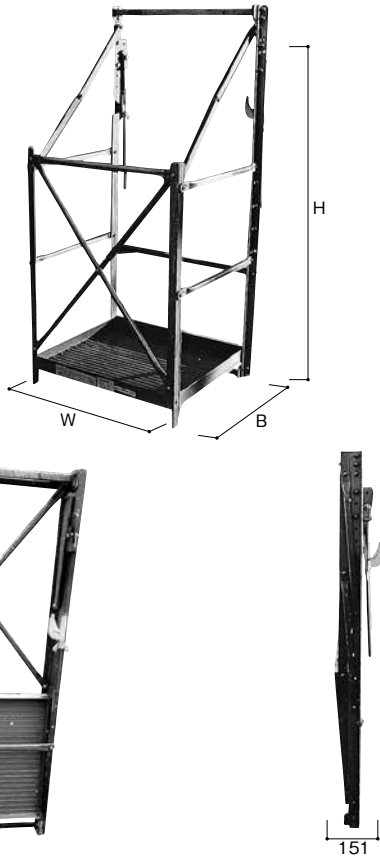


取扱い注意！！

- ★ 主柱①とセフィロック②は、必ず上・下フランジに当てること。
- ★ フック③は、必ず上フランジに挟むこと。
- ★ フック部を引っ掛けたり、ぶつかけたりしないこと。

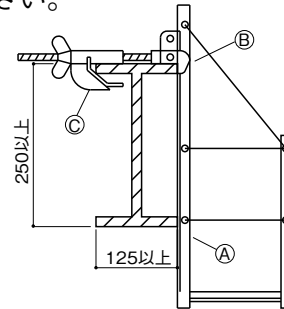


トビック



⚠ 注意

- ① トビック本体から水平養生ネット、垂直養生ネットの取付けをしないでください。
- ② トビックの取付けは梁上での作業となりますので、充分ご注意ください。
- ③ トビックへの乗り降りは、衝撃のかからぬ様にしてください。
- ④ 主柱(A)とセフティロック(B)は、必ず上・下フランジに当て、フック(C)は、必ず上フランジに挟んでください。
- ⑤ フック部を引っかけたり、ぶつけたりしないでください。
- ⑥ ジュラルミン製につき、取扱はていねいをお願いします。
- ⑦ トビック本体に、安全帯を掛けて作業をしないで下さい。



DATA 品名・規格・寸法

許容積載荷重200kgf (1,960N) 安全率5倍

型 式	トビック寸法 B×W×H	質 量
1型	615 × 763 × 1,260	13kg
2型	615 × 1,063 × 1,260	15kg
3型	615 × 763 × 1,430	17kg
4型	615 × 1,063 × 1,430	19kg
5型	615 × 1,463 × 1,430	21kg

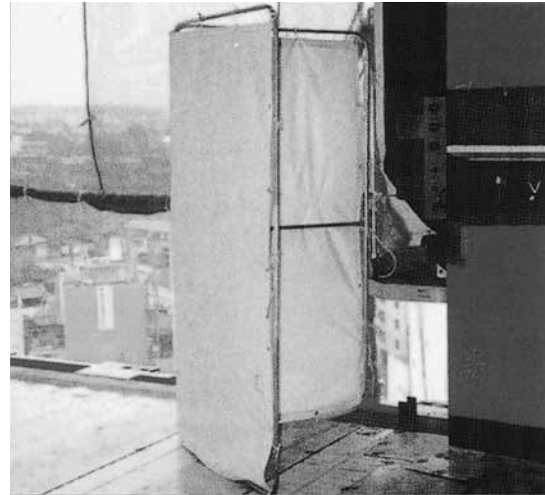
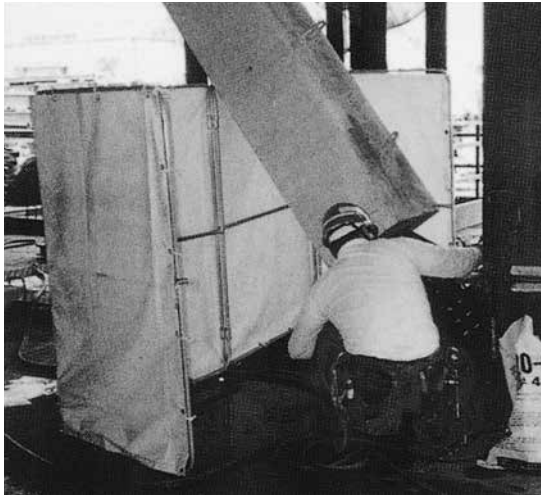
※取付金具は、A型が標準品です。

DATA 使用寸法

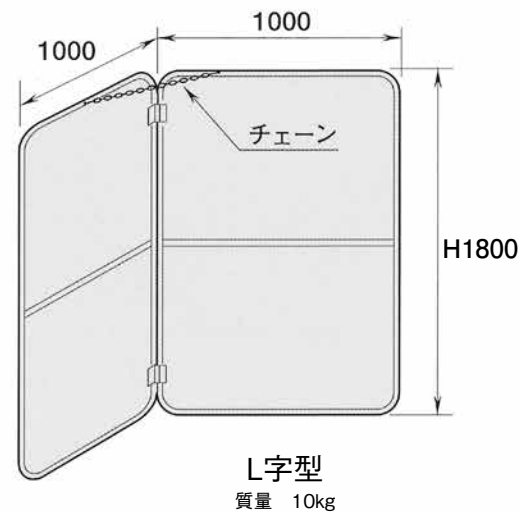
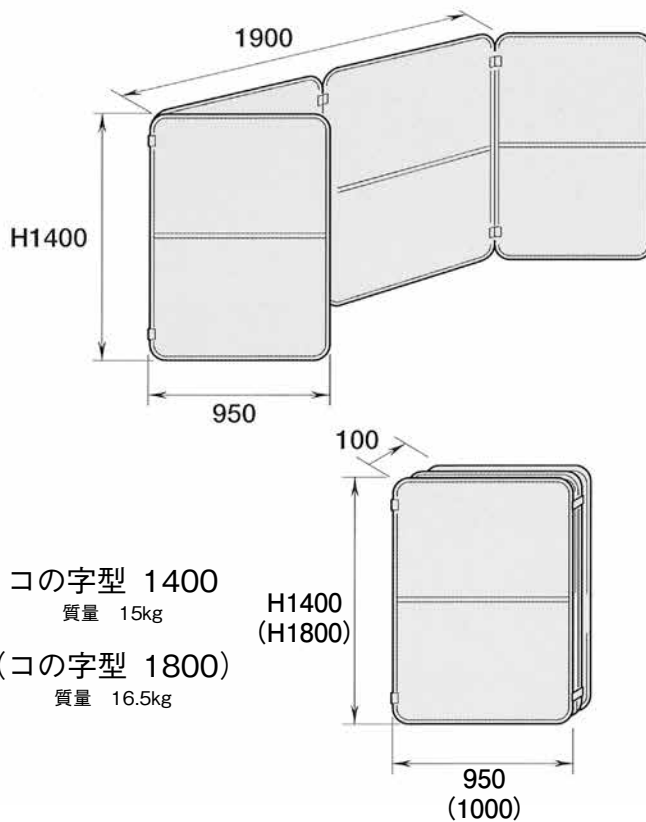
形 式	※本締の最適用梁成(h)	スライズプレート最大適用寸法	
		1台のみ使用(A)	2台向い合せ使用(B)
1型	250~760mm	650mm以下	600mm以下
2型	250~760mm	950mm以下	900mm以下
3型	250~930mm	650mm以下	600mm以下
4型	250~930mm	950mm以下	900mm以下
5型	250~930mm	1,350mm以下	1,300mm以下

※最適用梁成は梁下端からトビックの作業床までを500mmとした場合の寸法です。

風防ユニット



鉄骨溶接時の火災養生、風防止に最適！



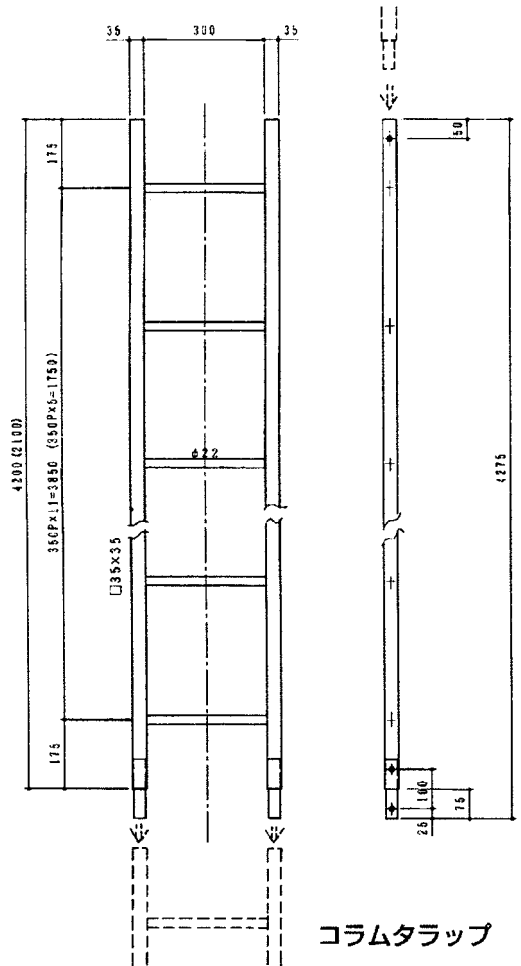
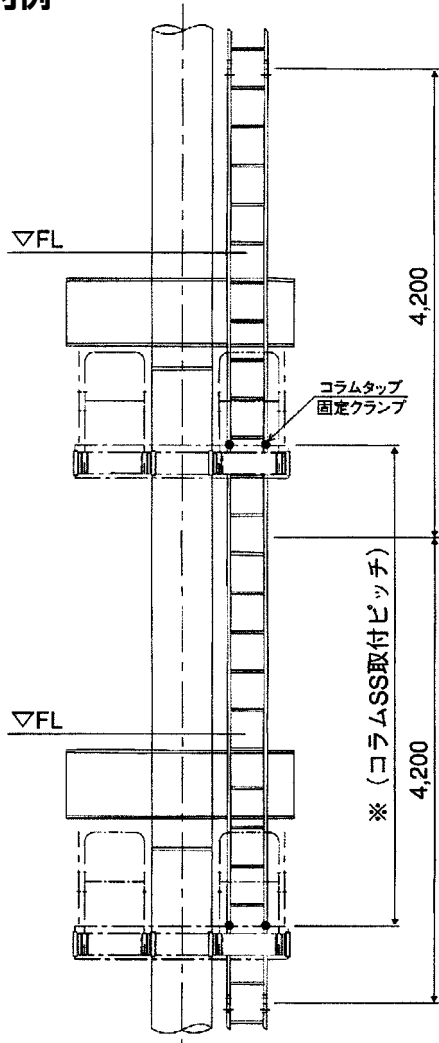
※シートは、販売となります。

⚠️ 注意

①強風等により、転倒又は落下しないよう控え等の措置を講じてご使用下さい。

コラムタラップ(アルミ合金製)

取付例

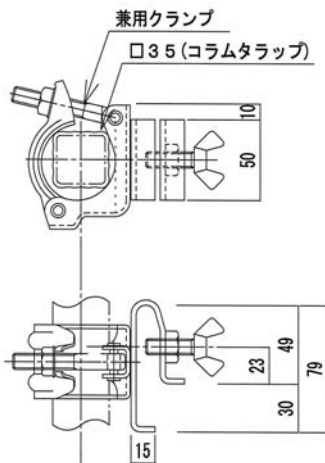


コラムタラップ

⚠ 注意

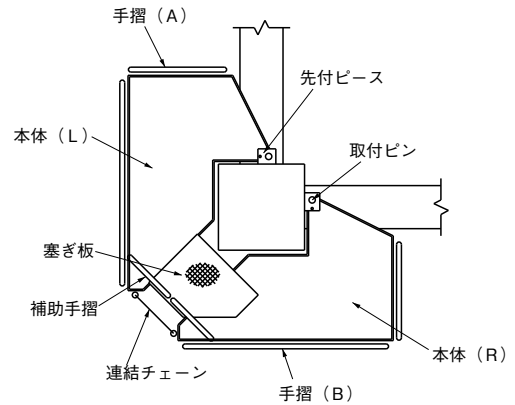
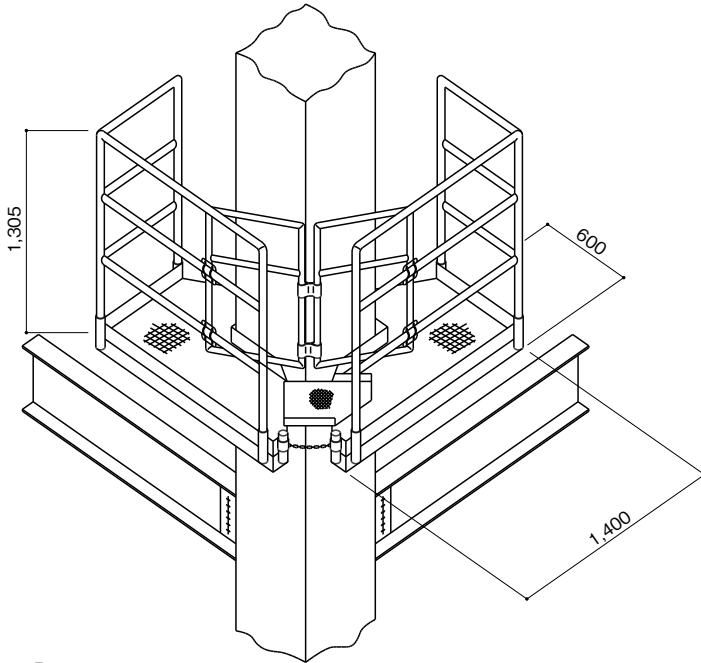
- ① ※4mを超える場合は、中間部につなぎ材が必要。
- ② 最上部、最下部には、つなぎ材が必要。

型式	寸法(mm)	質量(kg)
2100 L	□35×幅370×長さ2,175	4.6
4200 L	□35×幅370×長さ4,275	8.3
固定クランプ	—	0.7



コラムタラップ取付金具詳細図 S=1/3

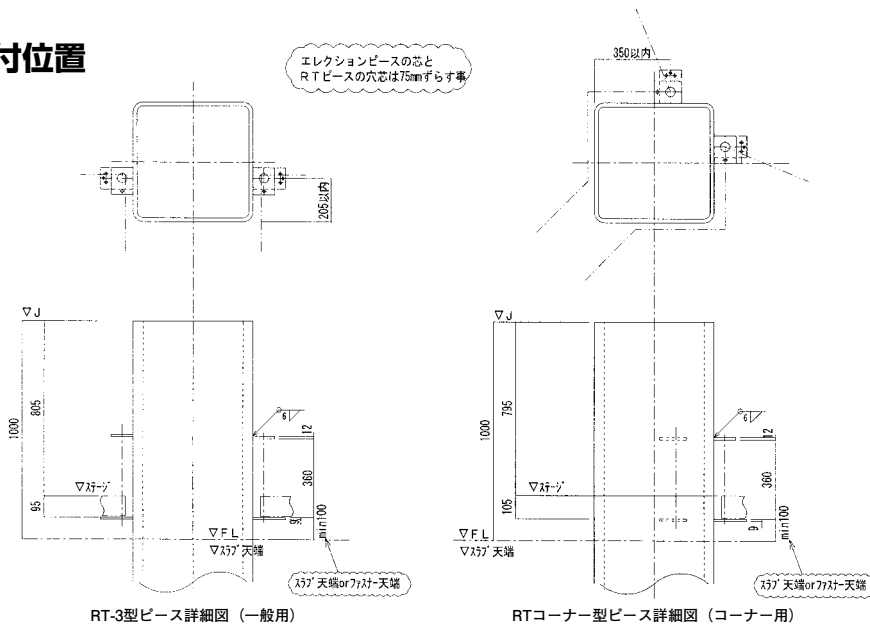
●ロータリータイプ(コーナー用)



DATA 部材表

品名	質量	1セットの構成部材数	ステージ取付柱寸法	備考
本体 (R)	18.5kg	1台	□-400mm~□-600mm	
本体 (L)	21.9kg	1台		塞ぎ板付
手摺 A	2.5kg	2本		補助手摺付
手摺 B	6.8kg	2本		
取付ピン	1.8kg	2本		

●先付ピース取付位置



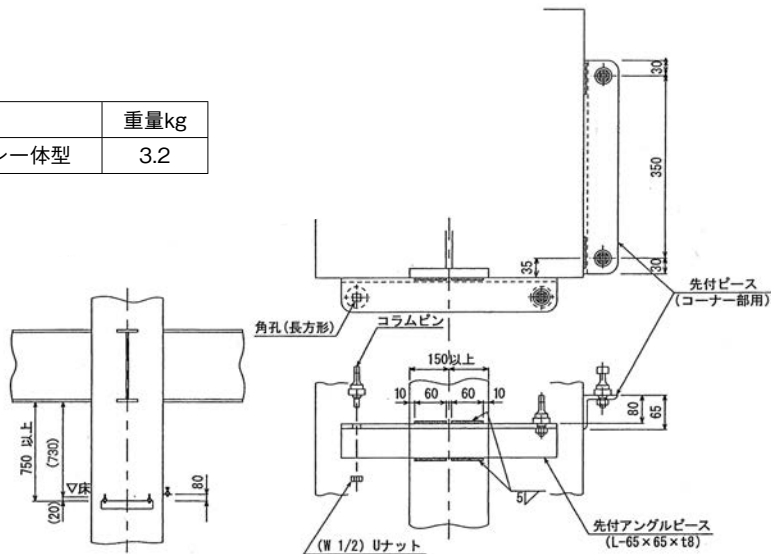
●コラムSS先付ピース

●アングル・ピンー体型

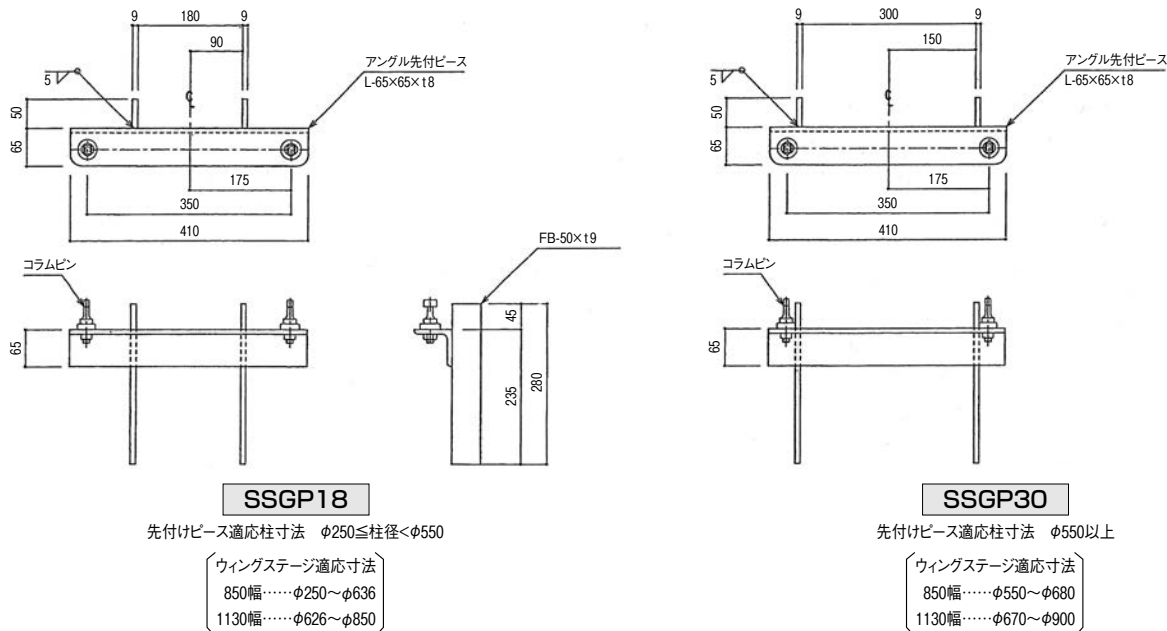
品番	品名	重量kg
SSPSE	コラムSS先付ピースアングル・ピンー体型	3.2

※販売品

構成部材	個数
アングルピース	1
SSコラムピン	2
W 1/2六角Uナット(4T)	2



●アングル・ピンー体型丸柱用特注品



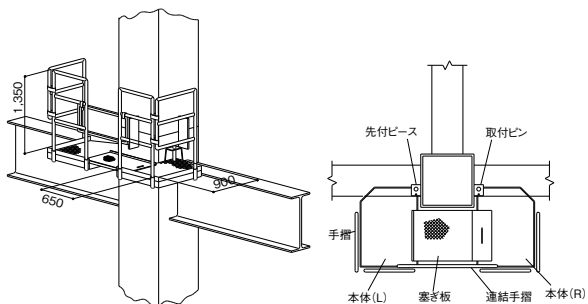
□取付、取外し要領

1. あらかじめ先付ピースを指定位置に工場溶接しておきます。
2. 現場にてピースに足場板の取付用穴をはめ込み、穴からつき出したピースのネックに安全ロックを掛け、ハンマーで打ち込み、固定（又は取外し）します。
3. 手摺はソケットに差し込み、高さ調節した後止めピンで固定します。
4. 取外しはこの逆の手順でおこないますが、本体に乗ったままでの安全ロックの解除は危険ですので絶対にお止め下さい。

※販売品は受注生産となる場合がございますのでお早めにご連絡ください。

●ロータリータイプ(一般用)

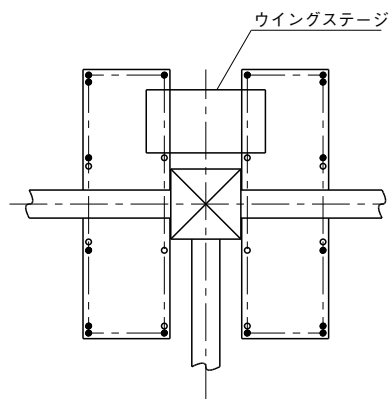
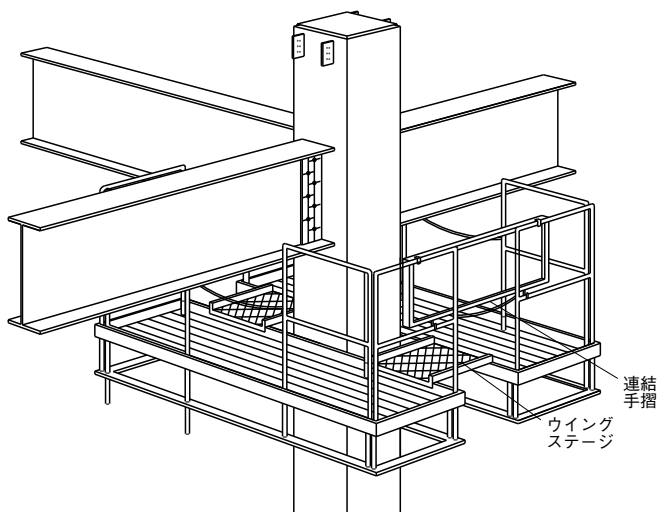
DATA 部材表



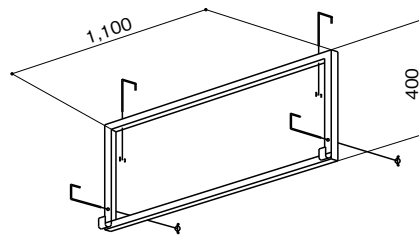
品名	質量	1セットの構成部材数	ステージ取付柱寸法	備考
本体 (R)	11.0kg	1台	□-400mm~ □-700mm	塞ぎ板付
本体 (L)	16.0kg	1台		
RT 3 手摺	5.0kg	2本		
連結手摺	2.7kg	1枠		
取付ピン	1.8kg	2本		

⚠ 注意

- ① ウイングステージを使用する場合には必ずコラムステージに固定すること。



●連結手摺



参考 コラムステージSSタイプを向き合わせて使用する場合、本体間の渡りに、「ウイングステージ」、「連結手摺」を使用します。

●ウイングステージ

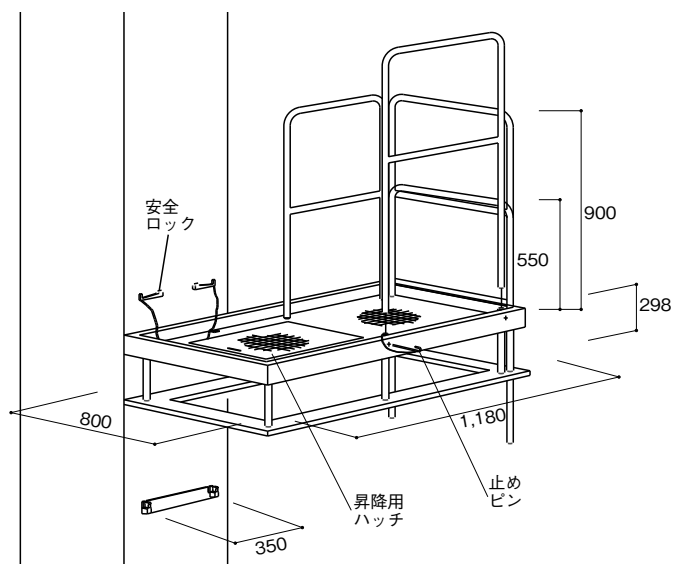
ハネ上げ式となっておりますので、昇降にも便利です。

形式	質量	使用渡り寸法
850L	5.7kg	400~700mm
1130L	7.4kg	700~1,000mm

●連結手摺

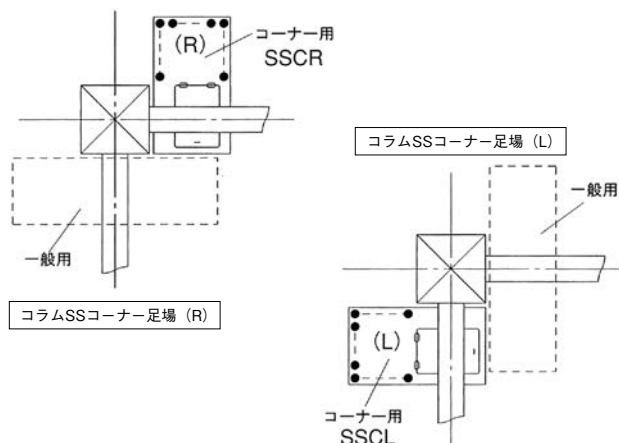
形式	質量	使用寸法
1100L	2.7kg	150~800mm

●SSタイプ (コーナー右用) (コーナー左用)



●コラムSS1台の構成数量

品番	品名	単重 kg	数量	備考
SSCL	コラムSSコーナー(L)本体	19.0	1	LまたはR どちらかを選択
SSCR	コラムSSコーナー(R)本体	19.0		
SSTA	コラムSS手摺(A)無印	1.8	3	



吊り足場類

コラムステージ

●SSタイプ (一般用)



梁が当たらないように
手摺を下げてください。

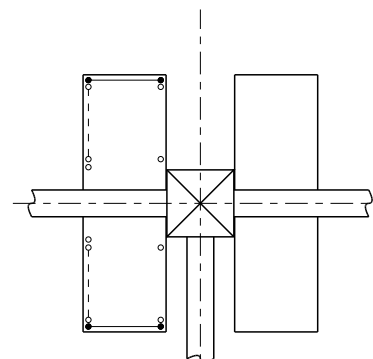
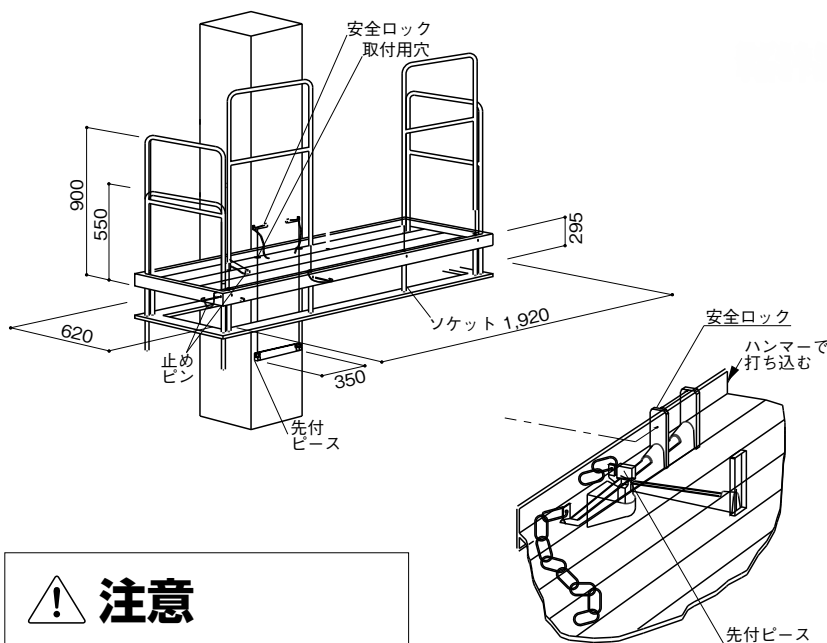
説明

- ① あらかじめ先付けピースを指定位置に工場溶接しておきます。
- ② 現場にてピースに足場板の取付穴をはめ込み、穴からつき出したピースのネックに安全ロックを掛け、90度回転させ、矢印の方向にハンマーで打込み、固定 (又は取外し) します。
- ③ 手摺はソケットに差し込み、高さを調節した後止めピンで固定します。
- ④ 取外しは、この逆の手順でおこないますが、本体に乗ったままでの安全ロックの解除は危険ですので、絶対にお止めください。

●SSタイプ (一般用)

	質量	1セットの構成部材数	備考
本体	21.2kg	1台	赤印
手摺(A)	3.0kg	2本	無印
手摺(B)	3.0kg	2本	赤印
チェーン	0.5kg	2本	
シャックル	0.08kg	4ヶ	

※手摺A コーナーの場合 3本



○---○ 手摺 (A)
●---● 手摺 (B)

注意

コラムステージの手摺には、
安全帯を掛けて作業をしない
で下さい。